

## 令和4年度 第2回 奈良県公共事業評価監視委員会 議事録

1. 日時 令和4年11月21日(月) 10:00~12:00
2. WEB会議
3. 出席者(敬称略、五十音順)
  - ・ 委員長 多々納 裕一
  - ・ 委員  
大庭 哲治、下村 由加里、西川 恵造、福井麻起子、松野 裕、横山 直子
  - ・ 奈良県 県土マネジメント部技術管理課、道路建設課、地域デザイン推進局平城宮跡事業推進室

### 4. 議事

#### (1) 道路事業：一般国道168号 新天辻工区

##### 1) 再評価に関する説明(道路建設課)

##### 2) 意見

(多々納委員長)

事業費について整理中かと思われませんが、何割ぐらいの増額になりますか。

(道路建設課)

5割にはいかないと思いますが、それに近い値になる可能性があります。現在、精査中であり、正確なお答えは難しいです。

(多々納委員長)

2号トンネルのために仮橋を建設されますが、施工順序を変えることで不要にならないのでしょうか。仮橋なので最終的には撤去するのですか。

(道路建設課)

仮橋については撤去するものですが、2号トンネルや1号トンネルの施工ヤードとして、仮橋を設置する付近の平場を活用する必要があります。

(大庭委員)

竹割型構造物掘削工法の採用によりコスト縮減されていますが、当初からこの竹割型構造物掘削工法を採用するわけにはいかなかったのでしょうか。

(道路建設課)

工法を採用する条件があり、土質調査が進んでこないと適用できるかはわかりません。そのため、最初の段階では標準案を適用していました。

(大庭委員)

事業化段階で、どの案を採用するのか基準などありますか。

(道路建設課)

詳細な土質調査などのデータがない状態では、標準的な工法を用いて積み上げていると思います。

(大庭委員)

多くの事業のコストが上がる傾向にありますが、事業化の段階で出来る限り現実に近い形になるような工夫が今後は大事だと考えます。

(多々納委員長)

委員の発言のとおりです。国土交通省においても検討されていると思いますが、事業費の算定方法が甘いと感じています。標準的な工法についても、今後精査をしていただき、変更を検討いただきますと、事業費が増加する場合も、減少する場合も出てくるように思われます。

この事業の目的は渋滞緩和ではないですね。

(道路建設課)

そうです。

(多々納委員長)

通常、便益で算出されるものと事業目的は一致しないわけですが、他の案を検討しなくてもいいのでしょうか。トンネルや橋梁などの工事費が高い構造物で事業を実施しなければならないのでしょうか。

(道路建設課)

この工区の通る天辻峠は雪の影響もかなりあり、交通の支障になっている箇所です。また、この工区は急勾配の箇所が多く、線形も悪いところです。そのため、走行性や安全性を考えるとバイパスになります。

一般国道 168 号はアンカールートで命の道として整備を進めており、その他の工区と一体的な整備を図っていく必要があると考えております。この工区だけ整備しないと脆弱部となり、効果が果たせないと考えます。

(多々納委員長)

B/C の算定が仮に 1 を切る状況となったとしますと、それでもこの工区を実施していく議論が必要になります。そのためには、この工区だけでなく、一連の区間でこの工区だけが非常に悪い状況が継続しますと、全体の効果が発揮されないという議論が必要になると考えます。次回、示される便益はどのように計算するのでしょうか。

(道路建設課)

他の工区が全部完成した前提で、便益を算出します。

(多々納委員長)

この工区だけやらないときの不利益が出るということかと思えます。

(福井委員)

具体的な数字を見せてもらいたいと考えますが、最初の見通しが甘くありませんか。仮設構造物に費用をかける必要があるのかも疑問が残ります。また、進捗率についても用地買収率 8%しかないにも関わらず、「地元の方々と協力しながら事業を進めているため、代替案の検討を行いません。」とのことですが、残り 92%の人が未だ同意を得られていない状況で、今後進めていかれるのでしょうか。

(多々納委員長)

述べられた懸案点についても、次回説明時にはご準備ください。

(多々納委員長)

本件については、本委員会ではこのまま終わりたいと考えます。次回委員会での報告をみてから判断することとします。

(各委員)

－異論無し－

### 3) 意見集約

現時点での意思決定は保留します。

## (2) 道路事業：一般国道 369 号 大保道路

### 1) 再評価に関する説明 (道路建設課)

### 2) 意見

(横山委員)

地域の活性化の説明が納得しづらいと感じており、例えばコメントにて「観光客が大幅に増加」と記載がありますが、どのくらい増加したのでしょうか。この道路整備により地域の活性化に繋がっているのか説明してください。

(道路建設課)

その部分は観光協会の方からヒアリングした内容でして、数字は把握していません。地域に施設が分散しており、数字として管理はされていないかもしれない。

(横山委員)

可能であれば数字として把握していただきたいです。

(多々納委員長)

調べて次回委員会にて報告ください。地域全体の把握ができなくても、例えば1箇所だけでも記載いただきたいです。

(松野委員)

この地区への交通手段は自動車しかないと考えますが、最新や将来の交通量についてあった方がいいのではないのでしょうか。

(道路建設課)

将来の交通量については現時点で提示できませんが、第3回委員会にてご報告します。また、令和3年の道路交通センサスについては公表されておられません。

(多々納委員長)

道路交通センサスの最新のものは平成27年のものですか。

(道路建設課)

そうです。

(大庭委員)

一刀石については奈良交通のバス内で案内されているのをみかけますので、交通量の増加を示すことが出来ないのであれば、公共交通のアクセス数などは把握することができるのではありませんか。

(道路建設課)

観光協会とも連携しながら、可能な限りご報告できるように進めます。

(下村委員)

柳生地域は観光の面もありますが、代々、地元に着された住民の方が多い地域だと思います。そういう地域では高齢化はしても、若い世代もいることが多いと思います。ですので、地域の世帯数などの変化を示すとよいのではないかと思います。世帯数が増加していなくても、このような地域で維持できているのであれば価値が高くなるのではないのでしょうか。

(道路建設課)

確認させていただきます。

(多々納委員長)

柳生小学校は統廃合したりする計画はないのでしょうか。

(道路建設課)

改めて確認させてもらいますが、現時点で統廃合などは伺っていません。

(下村委員)

例えば神社や寺などの造園を専門でやられている方など代々の仕事を営まれている方もいる地域で、都市部のように生徒数などでは議論できないと思います。

また、地域としてボーイスカウトなどがやるイベントなどもあるかもしれませんので、確認いただけるとよいと思います。

(道路建設課)

ありがとうございます。

(多々納委員長)

小学生の通学における安全性向上の議論がありましたが、子供がもうおられないかもしれません。ですので、見込みについても示された方が良いのではありませんか。また、集落に道路拡幅の影響はないのでしょうか。

(道路建設課)

この工区には矢羽根地区集落がありますが、その周辺についてはバイパス構造としており、安全性についても配慮していきたいと考えております。

(多々納委員長)

B/Cの算定も重要ですが、何のために整備が必要なのか明確にわかるように、次回にご提出いただきたいです。

若干資料の修正していただいて次回、もう1回審議したいと思います。

(各委員)

－異論無し－

### 3) 意見集約

現時点での意思決定は保留します。

(3) 都市公園事業：平城宮跡歴史公園 朱雀大路東側地区（I期）

1) 再評価に関する説明（平城宮跡事業推進室）

2) 意見

（多々納委員長）

維持管理費の数字について教えてください。

（平城宮跡事業推進室）

県が供用している朱雀大路西側地区の実績をもとに算定しており、年 5000 万円と見込んでおります。

（多々納委員長）

展示や VR 等も検討されており、実際の維持管理費は増額するのではないかと推察します。また、1 人あたりの便益の単価は 1 万円ぐらいですので、平均的な旅行費用は 1 万円ということですが、よろしいですか。

（平城宮跡事業推進室）

はい。

（多々納委員長）

今後の検討によって有料化すると需要は変わるかもしれませんが、試算結果はおかしくないと思います。事業計画として、今後検討いただければと思います。

維持管理費については低く見積もらないように注意いただきたいです。しかし、維持管理費が倍だとも考えても投資効果の結果は変わらないと思います。

（西川委員）

事業自体は既に進んでおりますので、今後の要は今回整備される歴史体験学習館が、どれだけ活用が出来るか、どれだけ人を引きつける魅力のある施設になっていくのかに注力していただく必要があると考えます。

また、平城宮跡の施設は、県施工の施設だけではなく、奈良文化財研究所や、文化庁などいろいろ分かれているわけです。それぞれが箱物として作っておしまいになるのではなく、しっかりと単独や、共同して人を引きつける魅力のある施設にしていっていただくということが事業の価値になると考えます。

それと、例えば奈良公園は、奈良駅のすぐ近くにあるわけですが、この施設の最寄り駅は近鉄新大宮駅になり、離れています。ただ、知事はこの近くに駅を設ける計画もあるようですが、それまでの間はアクセスをやすくしていただく必要があります。

(下村委員)

平城宮跡へは大和西大寺駅からも尼ヶ辻駅からもアクセスできますので、アクセスについては今後改善されるだろうと想定できます。

先ほどの西川委員のご指摘のように今後の活用が大切です。“仏造って魂入れず”にならないように、全体事業といかに連携させるかはすごく重要だと思います。奈良県としての窓口になる重要な取り組みになっていくのではないかと期待します。

(多々納委員長)

今のお二人のご意見に尽きるのかもしれませんが。

単純に考えますと、年間 15 万人が利用され、例えば料金収入を 1000 円としたら、1 億 5000 万円もの収入になります。必ずしも収益性がなければいけないわけではありませんが、1 つの見方かと思えます。

本事業がここに行きたいと思われるような場所になって欲しいと思いますので、ぜひ全体のプロデュースから、この事業を進めていただきたいと思います。正倉院のレプリカも常時展示されるということですので、ぜひ頑張ってください、訪れるのが楽しみとなるような施設にしていだけたらと思います。

以上のご説明をいただいた範囲内で事業を継続と判断してよいと考えますが、どうでしょうか。

(各委員)

－異論無し－

### 3) 意見集約

事業継続を妥当とします。